

南房総市 × 千葉工業大学

産学協働地域活力創造推進プロジェクト

デジタルの力を活用した 地域課題解決PJ

市内全域

【担当教員】 情報ネットワーク学科 中川 泰宏 助教
知能メディア工学科 今野 将 教授

【担当学生】 中川, 今野, 各研究室所属学生
ソーシャルキャリアトレーニング参加学生

【事業期間】 2017年度～継続中

大学の持つ技術・知見を活かし、学生の熱意とアイデアでデジタルソリューションによる地域課題解決を目指すプロジェクト。

学び舎「じんべゑ」

南房総市大井602

旧丸山町大井区の
築100年以上の古民家

南房総市内における、
千葉工大生の滞在施設及び
研究活動拠点として利用中



地域資源利活用PJ（竹林）

丸山地区ほか

【担当教員】 地域コーディネーター 青木 秀幸 非常勤講師

【担当学生】 科目ボランティア参加学生, 各サークル所属学生

【事業期間】 2021年度～継続中

里山資源の保全と利活用を目指した取り組みを展開することで地域に根ざした雇用創出, 若者定着の契機を促すプロジェクト。現在は、竹資源の利活用として、房州うちわの原材料となる竹の産地再生に取り組んでいる。

地域資源利活用PJ（防災）

富浦地区

【担当教員】 経営デザイン科学科 加藤 和彦 教授

【担当学生】 加藤研究室所属学生

【事業期間】 2025年度～継続中

富浦地域づくり協議会「さざなみ」との連携・協働による地域コミュニティの活性化及び、地域防災支援を行なうプロジェクト。大学生（関係人口）による親子向けイベント運営支援や防災啓発イベントの企画・運営に取り組んでいる。

地域の新たな担い手育成PJ

市内全域

【担当教員】 地域コーディネーター 青木 秀幸 非常勤講師

【担当学生】 科目ボランティア参加学生, 各サークル参加学生

【事業期間】 2017年度～継続中

大学生と市民との交流をととして大学生（関係人口）の地域貢献意識と市民の地元愛の向上を図り、関係人口と市民との協働により地域活力を再生・創造させるプロジェクト。

地域資源利活用PJ（篠笛）

丸山地区

【担当教員】 高度応用情報科学科 中川 泰宏 助教
経営デザイン科学科 加藤 和彦 教授

【担当学生】 中川研究室, 加藤研究室所属学生

【事業期間】 2017年度～継続中

丸山地区で厄介者とされている篠竹を地域資源として利活用することを試みるプロジェクト。地域の歴史文化に根付いてきた「篠笛」に注目し、篠竹の採取から加工・製作、演奏会までを企画・運営している。篠竹の消費量は微々たるものであるが、地元の誇りや地域愛着を取り戻すきっかけになっている。



地域資源利活用（カレンデュラ）PJ

白浜・千倉・和田地区

【担当教員】 教育センター化学教室 南澤 磨優 准教授

【担当学生】 南澤研究室所属学生

【事業期間】 2017年度～継続中

日本一の生産量を誇る南房総市産キンセンカを軸とした地域ブランディングを目的とし、「南房総市 カレンデュラ」としての新たな価値創造を目指すプロジェクト（カレンデュラ=キンセンカのハーブ名）。これまでに、南房総カレンデュラのアイデンティティ（産品そのもの際立った価値）の明確化や景観としての花畑の価値を調査した。現在は、カレンデュラ抽出物の成分分析等を行ない、新たな価値創造のための科学的エビデンスの取得に取り組んでいる。



自然を守ることは、
人間を守ること。

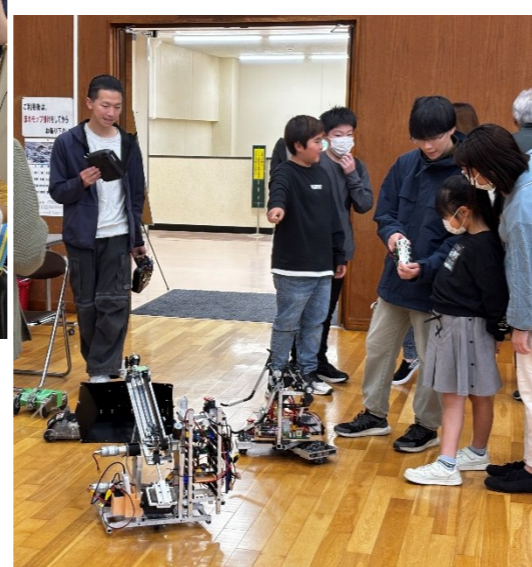
人材育成支援PJ

市内全域

【担当教員】 経営デザイン科学科 加藤 和彦 教授
デザイン科学科 大嶋 辰夫 准教授
高度応用情報科学科 中川 泰宏 助教

【担当学生】 加藤研究室, 大嶋研究室, 中川研究室所属学生
その他各サークル参加学生

【事業期間】 2015年度～継続中



地域課題を創造力で解決する地域に根差した人材の育成を目指すプロジェクト。千葉工大の強みである科学技術教育・研究のノウハウを活かして、「わくわく科学技術体験」や「学童保育支援」, 「環境学習支援」, 「防災教育支援」などに取り組んでいる。